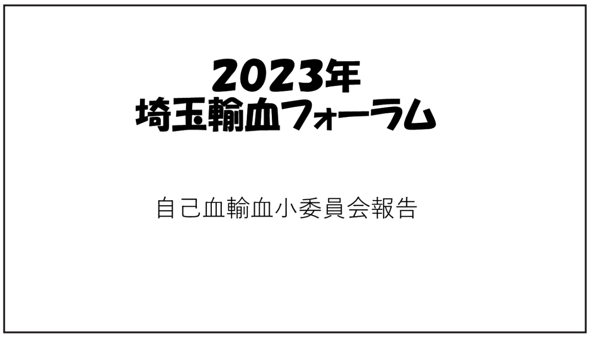
報告 6　自己血輸血小委員会報告

演者：池淵　研二　丸木記念福祉メディカルセンター　内科

スライド 1



　どうぞよろしくお願いします。最初の頃は自己血小委員会では申し込みのあった施設の現場に行って勉強会、ご指導、あるいは講演を行うということでやっておりました。その都度質問を受けたり、あるいは実際、自分で自己血穿刺をしたり採血したりしてるところで、いろいろなノウハウがあるということを、できたら、Q&A の形で紹介したいということで､今回 Q&A 集を作成しホームページにアップできましたのでご紹介したいと思います。

　スライドお願いいたします。

スライド 2

　これは何度も出しましたけれども、埼玉県赤十字血液センターのホームページです。これを下に少し移していただくと

スライド 3

　ここに「埼玉県合同輸血療法委員会」がありまして、ここをクリックします。

スライド 4

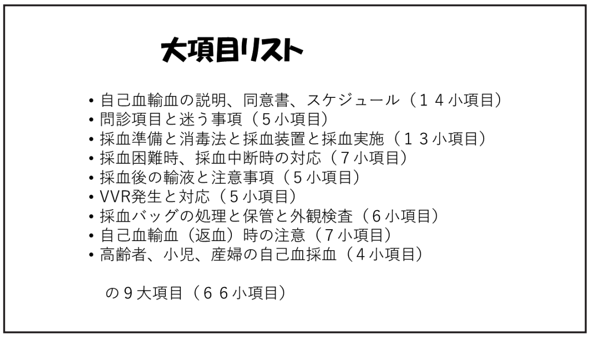
　そうすると、こういうページが出てきます。ちょっと面白いのは、この動画というところを見て頂くと「間違った輸血の実技」という動画では、例えば新鮮凍結血漿を荒っぽく落としてしまったとか、あるいはこれに熱湯をかけて溶かすとか、あるいは VVR 起こした方がどんな状況になるか、各委員が女優男優になって迫真の演技で登場するビデオが紹介されてます。

　今回、Q ＆ A をクリックしていただきますと。

スライド 5

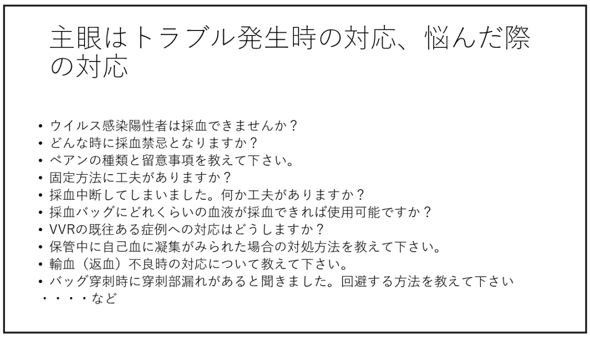
こういう形で九つの大項目が出てきます。で、今回工夫しましたのは、こういうところをクリックしていただくと、その下に、例えばこれだと 14 項目ぐらい小項目が出てきて、そこをさらにクリックすると Q&A が出てきます。この方法では探しきれないような。例えばエリスロポエチンについて知りたいとか、不規則抗体はどうなのかとか、量不足とか、あるいはシーラーをどう使うとか、そういう単語をこのキーワード枠に入れていただいて、検索するとそれを含んだ Q&A が探せるという風に工夫しました。

スライド 6



大項目のリストは、九つあって、その中で自己血輸血の説明、同意書、スケジュールという大項目には小項目が 14 項目あります。続いて問診項目と迷う事項、消毒法、採血装置採血の実施とか、採血困難時、中断時の対応があると思います。それから採血後の輸液とか注意事項、あるいは VVR 発生とその対応、それからバッグの処理保管、自己血の返血時の注意、高齢者小児、産婦の自己血採血も大項目として整理し小項目を配置し、九つの大項目の中に 66 の小項目を割り当てて質疑応答しております。

スライド 7

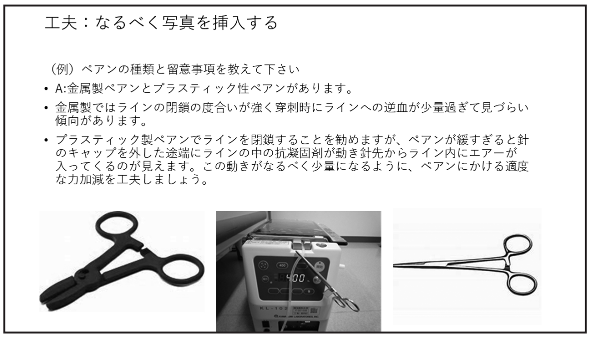


そして主眼としておいたのは、トラブル発生時の対応、悩んだ際の対応を具体的に取り上げることです。例えばウイルス感染陽性者は採血できないだろうか？どんな時に禁忌になりますか？ペアンの種類と留意事項とか　固定方法。中断してしまったどうしたらいいかとか、バッグの中にどれだけ取れば使えるかとか、あるいは VVR の既往のある症例の対応はどうしようかとか。

またよくありますが、保管中の自己血に凝集が見られたとか。返血の時にそれが詰まって輸血が完全にできなかったとか。

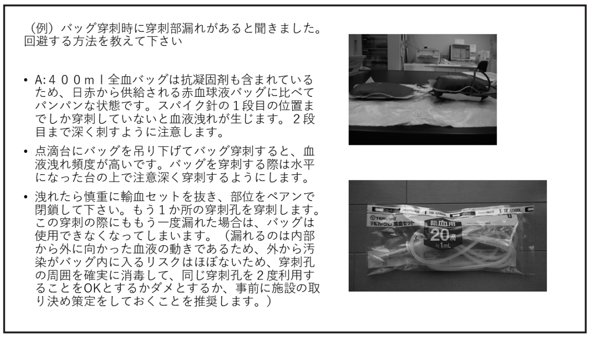
それから、せっかく輸血しようと思ってバッグを穿刺したんだけれども、穿刺部からジャバジャバと血液が漏れてバッグが使えるかどうかとか、それを回避するにはどうしたらいいか、そういうよく体験されるような質問を網羅してあります。

スライド 8



またもう一つの工夫は、なるべく写真を挿入するということで、採血装置から出たラインに金属のペンをつけると針を刺して、血管の中に針が入ってもなかなか逆血が見れないので、少しルーズな感じのプラスチックペアンを使った方が逆血が見やすいんじゃないかなっていうご提案とか、

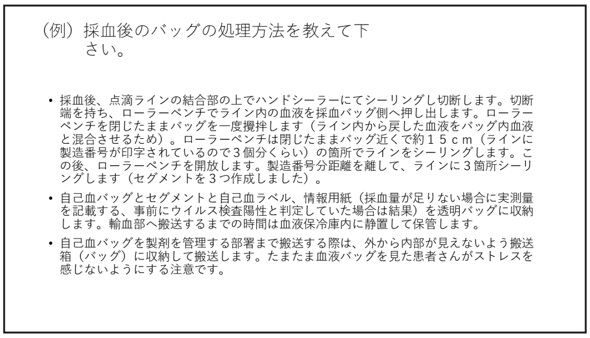
スライド 9



返血時のバックの穿刺漏れですが、ここによく使う赤血球液バッグの厚さと自己全血バッグの厚さを示し、こんなに違うので、これをうっかり点滴台につり下げてから、針を刺すと簡単に漏れが生じるということで、横にちゃんと置いて水平に針を刺して欲しいというようことを図で示しています。

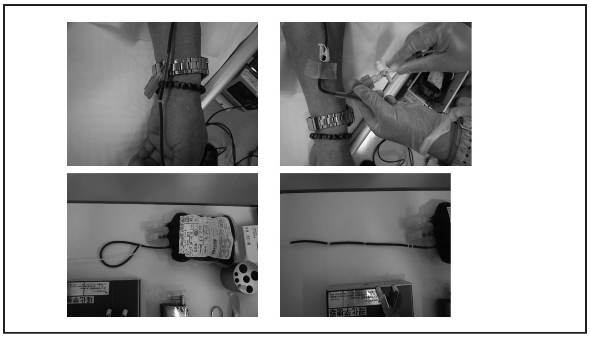
もしも漏れた場合には､そこをペアンで締めて､もう一箇所の穿刺孔を慎重に刺して輸血を完了してほしいという注意をしています。

スライド 10



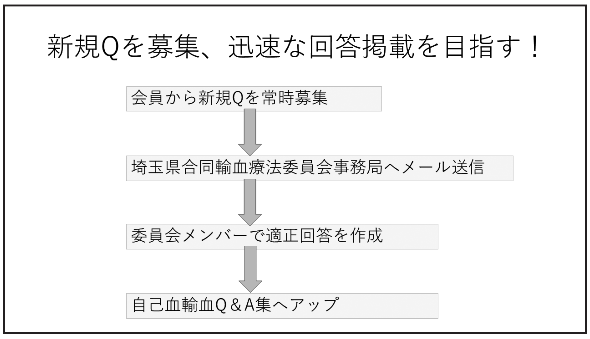
バッグの処理方法、シーラーのかけ方とかセグメントの作り方なども図に示しています。

スライド 11



まずシーラーをして、点滴ラインを繋いで、そして残りのラインの中の血液はローラーでバッグの中に血液を送り込みます。そしてシーラーを三箇所してセグメントを作成し、これを輸血時の生食法のクロスマッチに使うと、そういうことを示しています。

スライド 12



ということで、今回は、この九つの大項目と、その下にいくつかの小項目をつけて、Q ＆ A を作りました。まだ皆さんの中にこの Q&A シリーズを見てもまだこういうところにやっぱり心配なところがあるとか、こういう時はどうしたらいいのかという新規のクエスチョンが出た場合には、それを常時募集しておりますので、委員会に送っていただきたいと思います。小委員会メンバーで適正回答を作成して次々と Q&A 集にアップして、この Q&A を改善して行きたいと考えておりますので、どうぞ皆さん、閲覧して頂いて活用して下さい。さらに新規の Q を作って送ってください。どうぞよろしくお願いいたします。